

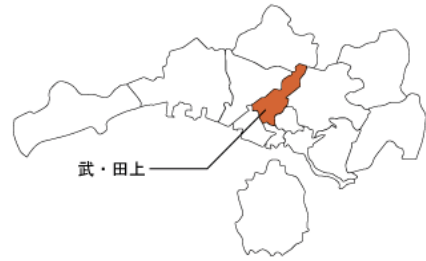


6-5 武・田上地区

(1) 地区の概要

◆地区の状況

武・田上地区は、本市中央部の新川（田上川）、脇田川の上流域に位置し、東部の武や田上の丘陵と西部の西別府の山地と河川沿岸の平坦地で構成され、ほぼ旧西武田村の区域にあたります。



◆地区の人口

武・田上地区の人口は 2005 年国勢調査において約 6 万 3 千人で、2000 年から 1.8%と減少しています。高齢化率は 20.3%で全市のほぼ平均となっています。

(2) 緑に関する現況と課題

◆地区の特性

大型団地や周辺都市から都心部へ向かう車が集中する交通混雑地区です。

眺望に優れた住宅地内の公園や史跡と一体になった西郷公園など魅力ある公園緑地が整備されています。

◆緑の現況

武・田上地区の都市公園は 91 箇所、一人当たりの公園面積 4.6 m²で、本市の平均より低い状況であり、主な公園には、広木公園・西郷公園があります。

本地区の緑被率は 42.3%で、本市のなかでは比較的高い状況にあり緑に恵まれています。

地域性緑地は、新川、脇田川が流れて、丘陵上部住宅団地周辺には良好な斜面緑地があります。

◆緑の課題

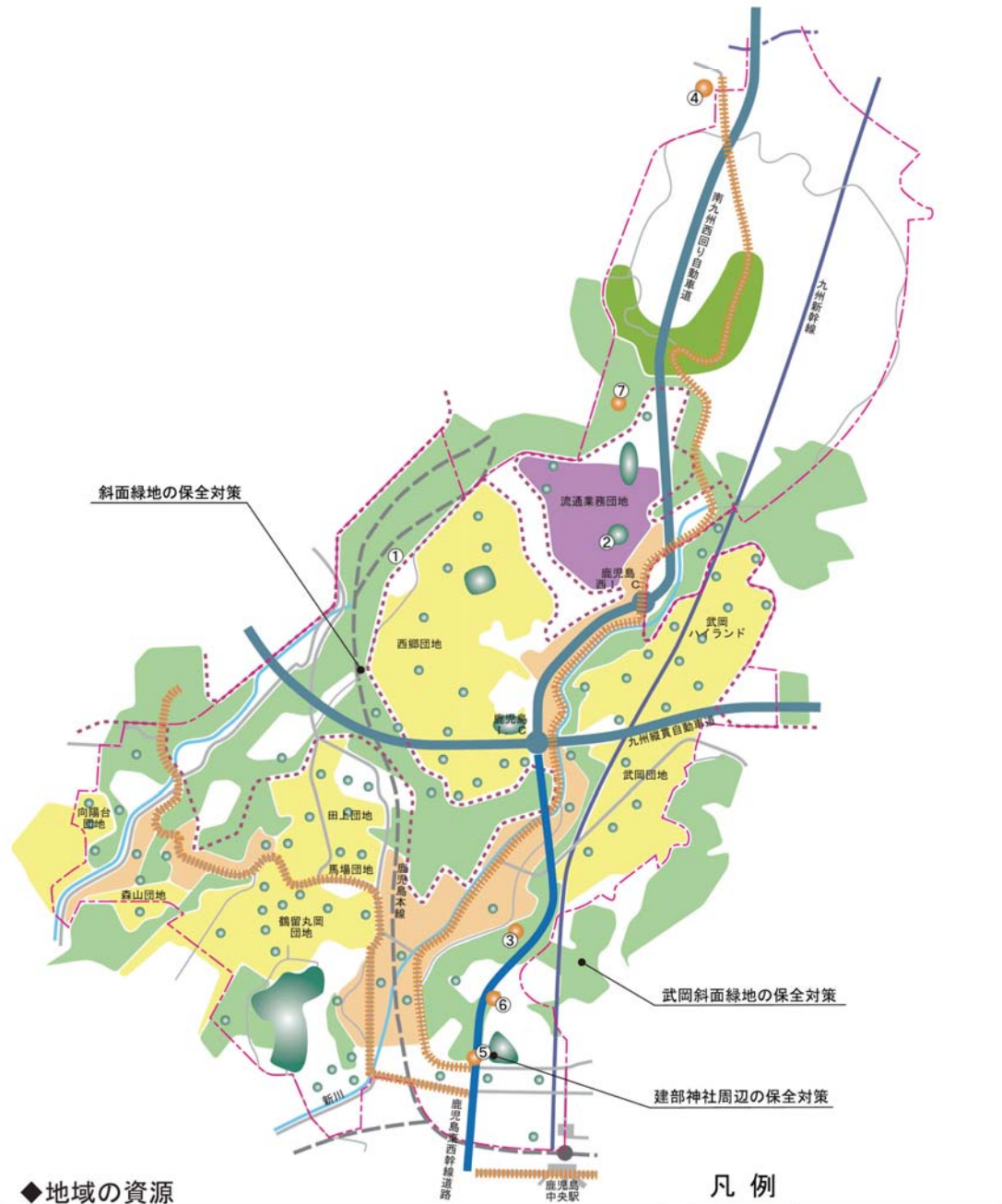
本地区の住宅団地の周辺には、市街地に残された貴重な緑である斜面緑地が連なっています。この市街地からの眺望のよい斜面緑地を保全していく必要があります。

また、身近な自然である新川などの河川上流域での樹木の保全と育成を図ることが望まれています。

さらに、身近な公園が不足している地区であり、子供の遊び場や散策などの利用できる公園の創出が望まれます。



● 武・田上地区の緑のまちづくりの資源と問題点等の分布図



◆ 地域の資源

自然	① 流通業務団地、丘陵上部住宅団地周囲の良好な斜面緑地
公園緑地	② スポーツを楽しめる大峯公園
公共的な施設等	③ 田上八幡神社
	④ 饅頭石
	⑤ 建部神社（武の産土神）
	⑥ 桜島や市街地の眺望に優れた長島美術館
	⑦ かごしま文化工芸村

凡例

	斜面緑地
	公園等
	公共的な施設等
	住宅団地
	密集した住宅地
	農村集落地
	流通業務団地
	地区・地域界
	市街化区域





(3) 武・田上地区の緑に関する方針

◆目標

広域交通網の整備を図りつつ自然と調和した
「穏やかな暮らしを育む緑のまちづくり」

武・田上地区は、九州縦貫自動車道、南九州西回り自動車道などが交差する交通の要衝であり、住宅団地が多くあります。生活環境と調和した交通の要衝としての緑に関する整備を推進します。

◆施策・事業

②「自然環境資源を次世代へ継承」に関する施策

施策6 斜面緑地の保全

- 本地区は、斜面緑地などの緑が多い地区ではありますが、持続的な保全がなされていない緑であり、保全配慮地区として検討していきます。
- 特に鹿児島中央駅西口から眺望できる武岡斜面緑地については、市街地の貴重な緑であり、保全の方策を検討します。
- 丘陵地住宅地周辺の斜面緑地や山林などについても、保全配慮地区や保全方策を検討します。

施策9 身近な緑の保全

- 建部神社周辺の緑などを、地域に密着した緑地として保全を検討します。

④「身近な緑の育成・創出」に関する施策

施策12 身近な公園・広場の創出

- 田上小学校周辺の公園が不足している住宅地では、民有地の借上げ公園などによる公園の整備を推進します。

⑤「緑や自然への関心を育み、成熟した都市へ」に関する施策

施策15 公共公益施設の緑化推進

- 隣接する鹿児島中央駅周辺の緑化重点地区との連携した環境整備を促進します。
- 街路や公園、公共公益施設の緑化を充実していきます。



● 武・田上地区の緑の方針図

“広域交通網の整備を図りつつ自然と調和した「穏やかな暮らしを育む緑のまちづくり」”

